

## 平成19年2月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年6月23日

上場会社名 株式会社 セキド

(コード番号：9878 東証第2部)

(URL <http://www.sekido.com/ir/index.html>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 関戸正実 TEL：(042) 643-6835  
責任者役職・氏名 取締役執行役員経理担当 江崎 武

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

第1四半期におきましては、実地棚卸は行わず帳簿棚卸残高によっております。

- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

当第1四半期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

### 2. 平成19年2月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年2月21日～平成18年5月20日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年2月期第1四半期	7,334	△12.7	△242	—	△261	—	△495	—
平成18年2月期第1四半期	8,402	△20.0	△230	—	△237	—	△231	—
(参考)平成18年2月期	37,578	△17.0	49	—	20	—	120	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年2月期第1四半期	△36	21	△35	03
平成18年2月期第1四半期	△17	12	—	—
(参考)平成18年2月期	8	93	8	70

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成18年2月21日～平成18年5月20日)の経済環境は、企業業績や各指標は堅調に推移したものの、個人消費については天候不順やマーケットの先行き懸念の影響もあり力強さに欠ける状況でありました。

このような状況のもと当社といたしましては、前期に引き続き不採算店の閉鎖を進め、当四半期においてアカマル店(群馬県高崎市)のカー用品部門及び諏訪店(長野県諏訪市)のカー用品部門と家電部門の閉鎖などを実施し、カー用品事業については事業撤退を完了いたしました。また、ファッション事業でSSS柏店(千葉県柏市)及びRuff & Tigh 錦糸町店(東京都墨田区)を出店し競争力の強化を図っておりますが、不採算店舗閉鎖の影響が大きく、売上高は7,334百万円(前年同期比△12.7%)、また、利益面におきましても、不採算店舗の在庫処分等や出店に伴う費用等が影響し、営業損失242百万円(前年同期は230百万円の損失)、経常損失261百万円(前年同期は237百万円の損失)、特別損益は当社の1店舗が入居するショッピングセンターが、担保不動産収益執行開始決定を受けたことに伴い、当該物件の貸貸人に預託している差入保証金等205百万円が回収できなくなる可能性があることから、保守的に貸倒引当金として特別損失に計上することとしたため、四半期純損失495百万円(前年同期は231百万円の損失)となりました。

なお、当期より減損会計の適用により、駐車場用地等の固定資産の減損損失を1,300百万円程度見込んでおりますが、未監査であるため本資料には計上しておりません。

## (2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年2月期第1四半期	19,519	8,579	44.0	604 60
平成18年2月期第1四半期	22,085	8,541	38.7	632 34
(参考)平成18年2月期	19,495	8,915	45.7	660 09

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年2月期第1四半期	779	△ 175	△ 645	3,121
平成18年2月期第1四半期	△ 2,533	160	△ 582	4,582
(参考)平成18年2月期	△ 2,350	179	△ 2,182	3,164

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の総資産は19,519百万円となり前期末比23百万円の増加となりました。

純資産は前期末比335百万円減少となり、自己資本比率は44.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ42百万円減少し、3,121百万円となりました。

当第1四半期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動の結果増加した資金は779百万円(前年同期は2,533百万円の減少)となりました。これは主に、棚卸資産の増加190百万円、売上債権の増加177百万円等があったものの、当第1四半期末日が金融機関の休日であったため、期末日満期手形349百万円、買掛金894百万円の支払等の資金が、資金残高に含まれているためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動の結果使用した資金は175百万円(前年同期は160百万円の回収)となりました。これは主に、定期預金の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動の結果減少した資金は645百万円(前年同期は582百万円の減少)となりました。これは主に、シンジケートローンの期限前返済674百万円を含む、長期・短期借入金の純減少747百万円及び新株発行による資金調達149百万円によるものであります。

## ○ 添付資料

(要約)四半期貸借対照表、(要約)四半期損益計算書など

以上

[参考]

平成19年2月期の業績予想(平成18年2月21日～平成19年2月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	16,300	△ 320	△ 1,805
通期	35,300	150	△ 1,405

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) △ 99円01銭

※ 平成18年5月26日に発表しております『債権の取立不能または取立遅延のおそれによる特別損失発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ』の予測数値からの修正はしておりません。

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

## 1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て、%)

科 目	当四半期 (平成19年2月期第 1四半期末)	前年同四半期 (平成18年2月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
現金及び預金	3,881	5,272	△1,390	△ 26.4	3,774
売掛金	1,162	1,268	△ 106	△ 8.4	987
商品	6,872	6,912	△ 40	△ 0.6	6,681
その他	698	732	△ 33	△ 4.6	688
流動資産合計	12,615	14,186	△1,571	△ 11.1	12,132
<b>II 固定資産</b>					
(1)有形固定資産					
建物	1,295	1,470	△ 175	△ 11.9	1,354
土地	2,266	2,414	△ 148	△ 6.1	2,266
その他	291	369	△ 77	△ 21.0	324
有形固定資産合計	3,853	4,254	△ 401	△ 9.4	3,945
(2)無形固定資産	187	207	△ 20	△ 9.7	195
(3)投資その他の資産					
差入保証金	2,419	2,814	△ 394	△ 14.0	2,575
その他	648	623	25	4.1	646
貸倒引当金	△ 205	—	△ 205	—	—
投資その他の資産合計	2,863	3,437	△ 574	△ 16.7	3,221
固定資産合計	6,903	7,899	△ 995	△ 12.6	7,362
資産合計	19,519	22,085	△2,566	△ 11.6	19,495

(単位：百万円、単位未満切り捨て、%)

科 目	当四半期 (平成19年2月期第 1四半期末)	前年同四半期 (平成18年2月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
支払手形	501	595	△ 94	△ 15.8	798
買掛金	2,119	1,318	800	60.7	702
短期借入金	4,750	6,626	△1,876	△ 28.3	5,047
賞与引当金	225	217	8	4.0	143
ポイント費用引当金	212	234	△ 21	△ 9.2	223
店舗閉鎖損失引当金	277	655	△ 378	△ 57.8	527
その他	1,164	1,330	△ 165	△ 12.5	963
流動負債合計	9,250	10,978	△1,727	△ 15.7	8,406
<b>II 固定負債</b>					
長期借入金	724	1,063	△ 339	△ 31.9	1,174
退職給付引当金	302	833	△ 531	△ 63.7	314
繰延税金負債	71	59	11	20.2	65
その他	591	610	△ 18	△ 3.1	618
固定負債合計	1,688	2,566	△ 877	△ 34.2	2,173
負債合計	10,939	13,544	△2,604	△ 19.2	10,579
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
資本金	2,979	—	—	—	—
資本剰余金	4,434	—	—	—	—
利益剰余金	1,084	—	—	—	—
自己株式	△ 2	—	—	—	—
株主資本合計	8,496	—	—	—	—
<b>II 評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価差額金	80	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	80	—	—	—	—
<b>III 新株予約権</b>	2	—	—	—	—
純資産合計	8,579	—	—	—	—
負債、純資産合計	19,519	—	—	—	—
<b>(資本の部)</b>					
資本金	—	2,904	—	—	2,904
資本剰余金	—	4,359	—	—	4,359
利益剰余金	—	1,227	—	—	1,579
その他有価証券評価差額金	—	51	—	—	73
自己株式	—	△ 2	—	—	△ 2
資本合計	—	8,541	—	—	8,915
負債及び資本合計	—	22,085	—	—	19,495

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て、%)

科 目	当四半期 (平成19年2月期第 1四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	7,334	8,402	△1,067	△ 12.7	37,578
<b>II 売上原価</b>	5,643	6,366	△ 723	△ 11.4	28,692
売上総利益	1,691	2,035	△ 344	△ 16.9	8,886
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	1,933	2,266	△ 332	△ 14.7	8,837
営業利益 (△損失)	△ 242	△ 230	△ 11	—	49
<b>IV 営業外収益</b>	11	17	△ 6	△ 35.2	87
<b>V 営業外費用</b>	30	24	6	27.3	115
経常利益 (△損失)	△ 261	△ 237	△ 24	—	20
<b>VI 特別利益</b>	—	14	△ 14	0.0	474
<b>VII 特別損失</b>	225	0	225	—	350
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (△損失)	△ 487	△ 223	△ 264	—	144
税金費用	7	8	△ 0	△ 2.9	23
四半期 (当期) 純利益 (△損失)	△ 495	△ 231	△ 264	—	120

(注) 第1四半期会計期間における税金費用については、住民税均等割り額の概算額を計上しております。

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

	当四半期 (平成19年2月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第1四半期)	(参考) 平成18年2月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益(△は損失)	△ 487	△ 223	144
減価償却費	78	89	353
貸倒引当金の増減額	205	△ 1	△ 1
賞与引当金の増加額	82	88	14
ポイント費用引当金の減少額	△ 11	△ 6	△ 17
店舗閉鎖損失引当金の減少額等	△ 26	△ 151	△ 28
退職給付引当金の減少額	△ 12	△ 32	△ 551
受取利息及び配当金	△ 5	△ 6	△ 27
支払利息	23	24	96
固定資産除却売却損	1	0	61
売上債権(前受金含む)の増加額	△ 177	△ 313	△ 42
たな卸資産の増加額	△ 190	△ 573	△ 343
仕入債務の増減額	1,189	△ 813	△ 1,318
未払消費税等の増減額	21	△ 89	△ 102
その他	147	△ 458	△ 457
小 計	838	△ 2,469	△ 2,217
利息及び配当金の受取額	1	1	8
利息の支払額	△ 32	△ 32	△ 107
法人税等の支払額	△ 28	△ 32	△ 33
営業活動によるキャッシュ・フロー	779	△ 2,533	△ 2,350
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の純増減額	△ 150	18	98
有形固定資産の取得による支出	△ 19	△ 45	△ 414
無形固定資産の取得による支出	△ 23	△ 4	△ 43
差入保証金の取得による支出	△ 8	△ 49	△ 85
差入保証金の回収による収入	36	250	720
その他	△ 11	△ 9	△ 96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 175	160	179
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純減少額	△ 230	△ 120	△ 510
長期借入れ(1年内含む)による収入	625	—	1,000
長期借入金(1年内含む)の返済による支出	△ 1,142	△ 462	△ 2,540
設備割賦契約による収入	—	—	69
設備割賦契約の返済による支出	△ 47	—	△ 186
株式の発行による収入	149	—	—
配当金の支払額	△ 0	△ 0	△ 0
その他	△ 1	△ 0	△ 14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 645	△ 582	△ 2,182
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 1	△ 7	△ 27
<b>V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)</b>	△ 42	△ 2,962	△ 4,380
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	3,164	7,545	7,545
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	3,121	4,582	3,164